

公益財団法人 長寿科学振興財団

— 令和8年度(令和9年度助成) 長寿科学研究者支援事業 —

長生きを喜べる長寿社会実現研究支援



提案公募のご案内

長生きを喜べる
長寿社会を
めざして



助成金額

年間上限
1,000万円

採択件数

0 ~ 2件程度
実効性のある提案を採択します

提案書受付期間

令和8年7月1日(水) ~ 7月31日(金)



AI × Robotics 地域共生 自律制御 人支援ロボティクス 多世代共生

知能 ■ Well-being パワーアシスト

Computer Vision 自己位置推定

Smart デジタルツイン

Mobility ADL

フレイル予防 アルゴリズム

ソフトロボティクス テレイグ ジスタンス

CHALLENGE ATOM PHYSICAL AI PROJECT

ラストワンマイル

Human-Robot Interaction

SLAM アルゴリズム Active Ageing

■ Society 5.0 | マルチモーダル学習

VOL.1 始動!!

©TEZUKA PRODUCTIONS

開発助成金

最大100万円

超高齢社会の課題解決をテーマとした、AIとロボティクスを融合した『フィジカルAI』の開発に挑む学生向けコンテストを実施します。本プロジェクトは今後も継続していく予定です。



目的

当財団は「長生きを喜べる長寿社会の実現～生きがいのある高齢者を増やす～」を主課題として掲げ、その実現のために課題解決となる研究開発・社会実装を行い、政策提言に向けた助成事業「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」（本事業）をすすめています。本事業は主課題を実現するため、課題解決になる実用的な方法の研究開発から本格的な社会実装まで取り組める課題解決型のプロジェクトを採択し、支援します。

主課題 長生きを喜べる長寿社会の実現 ～生きがいのある高齢者を増やす～

キーワード

- ① 高齢者のQOL・生きがい・健康・活力のエンパワメント
- ② 弱っても安心して生き生き過ごせるまちづくり
- ③ 認知機能が低下しても個人の尊厳を尊重した普段の生活における様々な意思決定支援
- ④ 高齢者にやさしいテクノロジー・デジタル技術の開発・実装



事業運営 イメージ

本事業は多様な段階から開始するプロジェクトを支援するため、AからCの3つの分類を設けています。プロジェクトは毎年継続の審査があり、確実に社会実装し、持続可能な事業化を重視するとともに社会貢献、地域貢献となるプロジェクトを求めています。提案時には、AからCの分類の中でプロジェクトを開始する段階を選択してください。本事業は審査評価委員会が、審査・採択を行います。また、採択後は審査評価委員会からの助言等を通じ、プロジェクトを実施する皆様と伴走しながらプロジェクトの目標達成を目指します。

A 探索研究

課題解決方法のアイデアの実現性・実用化が可能かどうか検証を目的とする

年間上限1,000万円
最長2年間

B 実装研究

課題解決方法を実験的に実装・検証を進め、事業化の準備を目的とする

年間上限1,000万円
最長2年間

C 社会実装

事業を本格的に進め、持続可能な仕組みの確立を目的とする

年間上限1,000万円
(助成率は総事業費の3分の1まで)
最長2年間

それぞれの分類で求める最低限の成果

課題解決方法の
試作版の完成

課題解決方法の
正式版の完成
外部資金の調達の実現

持続可能な事業の
仕組みの確立

提案者の要件

提案者となるプロジェクトリーダーは、国内の団体（大学、民間企業、地方自治体、社団・財団法人、シンクタンク、NPO団体等）に所属して当該団体においてプロジェクトを実施する体制を組成してください。

スケジュール

- 公募要領公開 ▶ 令和8年5月1日
- 提案書受付期間 ▶ 7月1日(水)～7月31日(金)
- 一次審査 ▶ (書面審査)9月中旬
- 二次審査 ▶ (プレゼンテーション審査)10月26日(月)
- 最終審査 ▶ 11月下旬
- 採択通知 ▶ 12月上旬～下旬
- プロジェクト開始 ▶ 令和9年4月1日

審査評価委員会

委員長	駒村 康平	慶應義塾大学経済学部 教授	委員	鎌田 実	一般財団法人日本自動車研究所 所長
副委員長	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長	委員	近藤 克則	千葉大学予防医学センター 特任教授
		未来ビジョン研究センター教授			医療経済研究機構 研究部長
委員	秋下 雅弘	東京都健康長寿医療研究センター 理事長	委員	佐藤 久恵	学校法人国際基督教大学 評議員
委員	阿久津靖子	一般社団法人日本次世代型先進高齢社会研究機構 代表理事	委員	長谷川友紀	東邦大学医学部 名誉教授

information



Dispatch of researchers to aging and health science-related international conferences

令和9年度「国際学会派遣事業」公募予定

目的

長寿科学研究に携わる若手研究者の育成を目的に、優れた研究成果をあげた若手研究者又は、有望な研究を行う若手研究者に、海外で開催される関連学会に参加する費用を助成します。

対象国際学会等開催予定

令和 9年 4月 1日(木)～
令和10年 3月31日(金)

申請受付予定(期間厳守・必着)

令和8年11月 1日(日)～
令和9年 1月10日(日) 審査 2月予定

本事業の公募要領や提案方法については財団ホームページでご確認ください。
また本事業に関する情報はメールマガジンにて順次配信します。
ぜひメールマガジンにご登録ください。

長寿科学振興財団

検索



WEB版 エイジング アンドヘルス



財団が発行しているWEB版「エイジングアンドヘルス」において、高齢者が自分らしく生活するためのヒントや“生きがい”につながる知見・取り組みについて特集をしています。本事業の趣旨の理解を深めるためにも是非ご覧ください。

バックナンバーはこちらから

ご覧になれます。⇒



メルマガ登録のお願い



本事業に関する情報はメールマガジンにて順次配信します。
メールマガジンに是非ご登録ください。

スマートフォンのカメラアプリ等で左のQRコードを読み込むか、
財団ホームページから ご登録ください。

担当者

公益財団法人長寿科学振興財団
事業推進課 (担当: 久野・矢田)

本公募についてのお問合せはホームページからお願いいたします。

財団概要



公益財団法人長寿科学振興財団は、昭和天皇御長寿御在位60年慶祝事業のひとつとして国立長寿医療研究センターの設立と支援を目的に1989年(平成元年)に発足しました。当財団は長寿科学※に関する調査研究の実施・研究の助長奨励・研究成果の普及を促進し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的に公益事業を実施しています。

※「長寿科学」とは長生きを喜べる長寿社会づくりの基盤となる学問であり、高齢者や長寿社会に関し、自然科学から人文社会科学に至るまで幅広い分野を総合的・学際的に研究する学問のことです。